

R S T人工呼吸器に関する学習会議事録

H 2 5 . 6 . 2 8 6病棟

テーマ：人工呼吸器のグラフィック（波形）基礎と換気モード

講師：ドレーゲル・メディカルジャパン

新生児領域マーケティングマネージャー 金城先生

日時：6月20日（木） 18：30～19：30

場所：国立病院機構 福島病院2階 大研修室

対象：医療従事者、看護学生

参加人数：院内34名、看護学生7名、外部1名

内容：1、グラフィックモニターの種類

（気道内圧波形、フロー波形、ボリューム波形、P-Vループなど）

2、PCV（従圧式）の気道内圧とフロー波形

（PCV（従圧式）の波形と空気の入れ方について）

3. 波形について

（モニターの画面説明、基本波形、チューブ閉塞時の波形、レジスタンス変化時、コンプライアンス変化時、自発呼吸の出現時の波形、回路の水滴時、計画外抜管時など）

4、P-Vループ波形について

（静的圧量曲線、肺コンプライアンスの変化、Bird Break、肺過膨張時、気道抵抗の変化）

5、F-Vループ波形について

（リーク波形、気道に痰がある時の波形、気道閉塞時）

6、リークが及ぼす影響、リーク補正機能、リーク率について

（リーク率と一回換気量の関係、リーク換気量補正機能）

7、VG機能、HFOの作動原理・利点について

＊学習会のポスターを作成し、1週間前よりRSTメンバーを中心にメールや各部署に掲示・伝達してもらったようにした。前回よりも参加人数が少なかったため、今後も早めにポスターを掲示し、より多くのスタッフに参加してもらえよう伝達していったら良いと思う。

＊私は日頃、グラフィックモニター付きの呼吸器を使用する機会が少ないため、用語に関して難しい部分もあったが、学習会後に用語に関する説明の追加があったので、理解しやすいものとなった。モニターから患者の状態を把握し、少しの変化に気づけるようにしていきたい。今回の学びを深め、日々の看護に生かしていきたいと思う。

記録：看護師 江田真澄